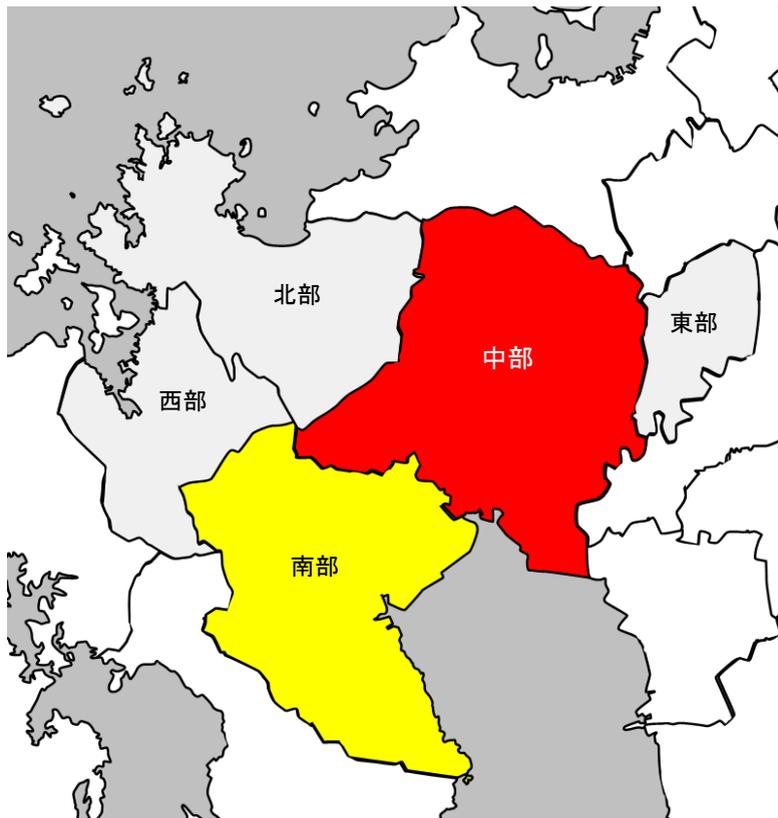


41. 佐賀県

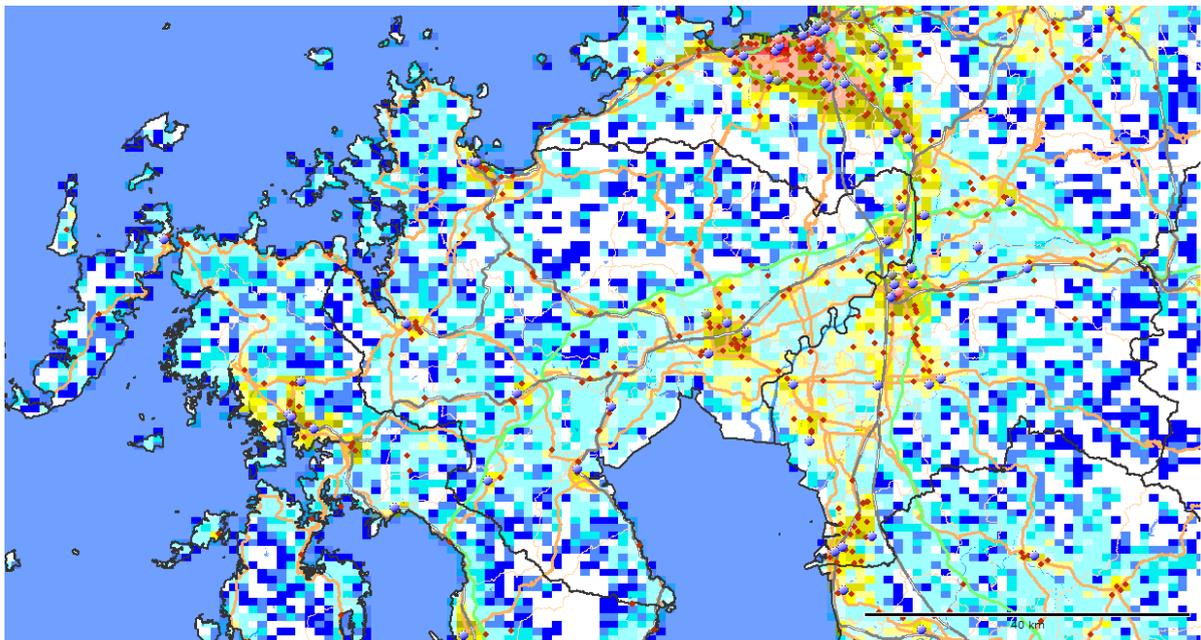


目次

佐賀県	41	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	41	-	8
1. 中部医療圏	41	-	20
2. 東部医療圏	41	-	25
3. 北部医療圏	41	-	30
4. 西部医療圏	41	-	35
5. 南部医療圏	41	-	40

41. 佐賀県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（佐賀県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 佐賀県は、総人口約828千人(2015年推計)、面積2440km²、人口密度は339人/km²である。

***人口の将来予測：** 佐賀県の総人口は2025年に775千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に680千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の122千人が、2025年にかけて143千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には151千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 佐賀県の一人当たり医療費(国保)は380千円(偏差値65)、介護給付費は288千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 佐賀県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.1、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.95で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が54(病院医師数56、診療所医師数50)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値66と非常に多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 佐賀県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11331人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が7454床(偏差値51)、高齢者住宅等が3877床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10854人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム44、軽費ホーム47、グループホーム63、サ高住38である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1001人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

佐賀県の総人口は、2005年866369人が、2015年に827826人と4%減少し、2025年の人口が774676人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

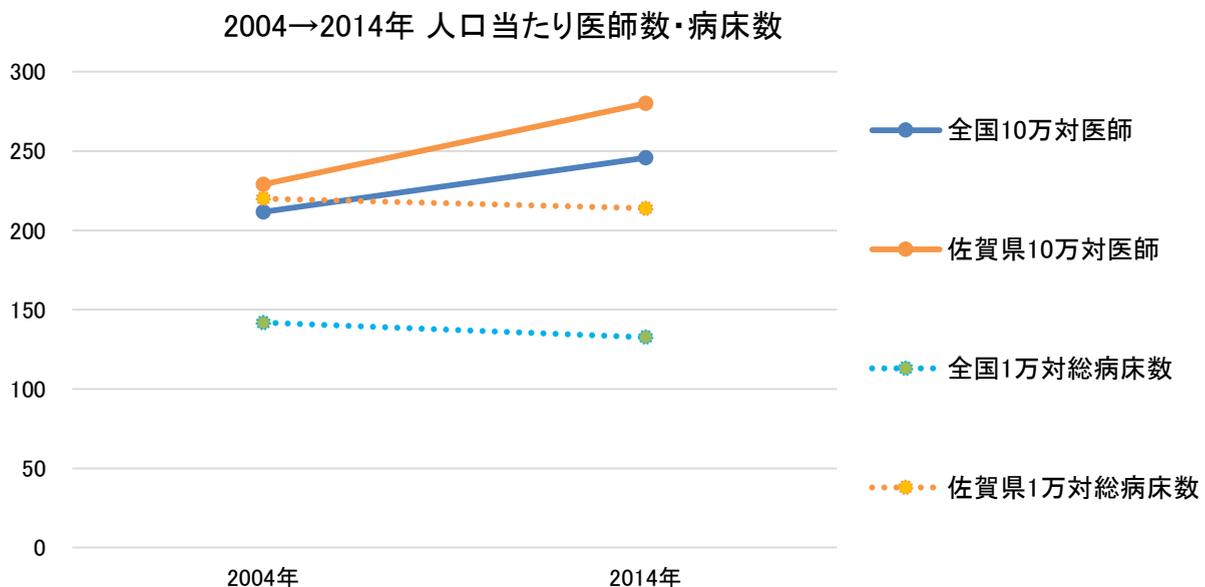
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が112(人口10万人当たり12.9病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2014年に108(人口10万人当たり13病院(全国平均6.7)偏差値65)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が678(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に684(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、6診療所が増加した。

2004年の総病床数が19063床(人口1万人当たり220(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に17711床(人口1万人当たり214(全国平均133)偏差値64)と、1352床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

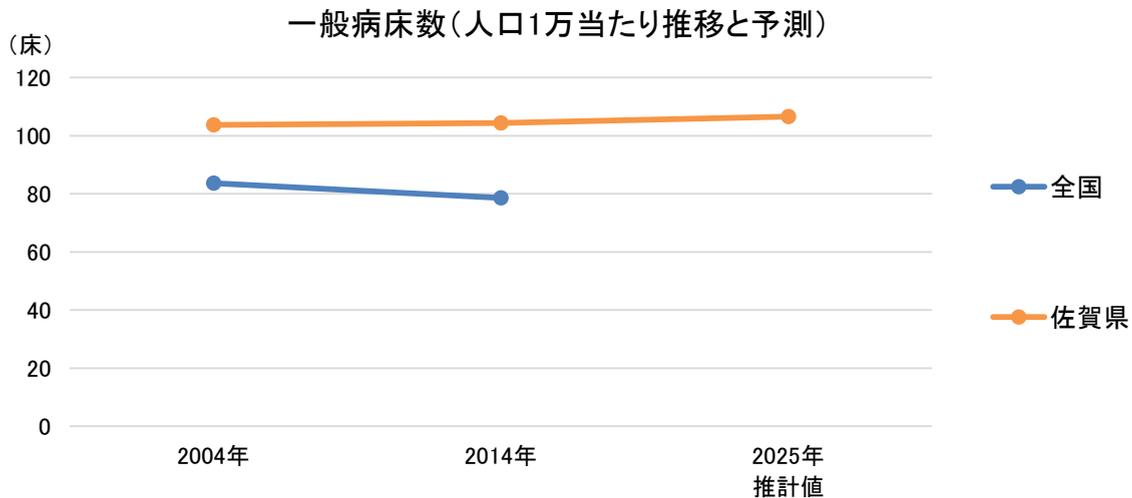
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1985人(人口10万人当たり229人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2014年に2319人(人口10万人当たり280人(全国平均246人)偏差値54)と、334人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



41. 佐賀県（2016年版）

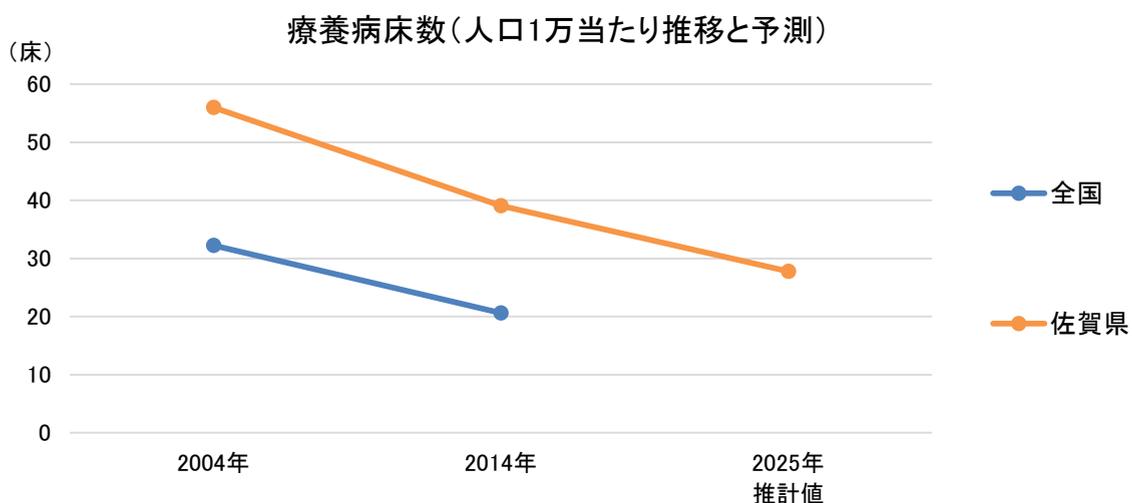
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8981床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に8637床(人口1万人当たり104(全国平均79)偏差値59)と、344床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には8258床(2025年の推計人口1万人当たり107)になることが予想される。



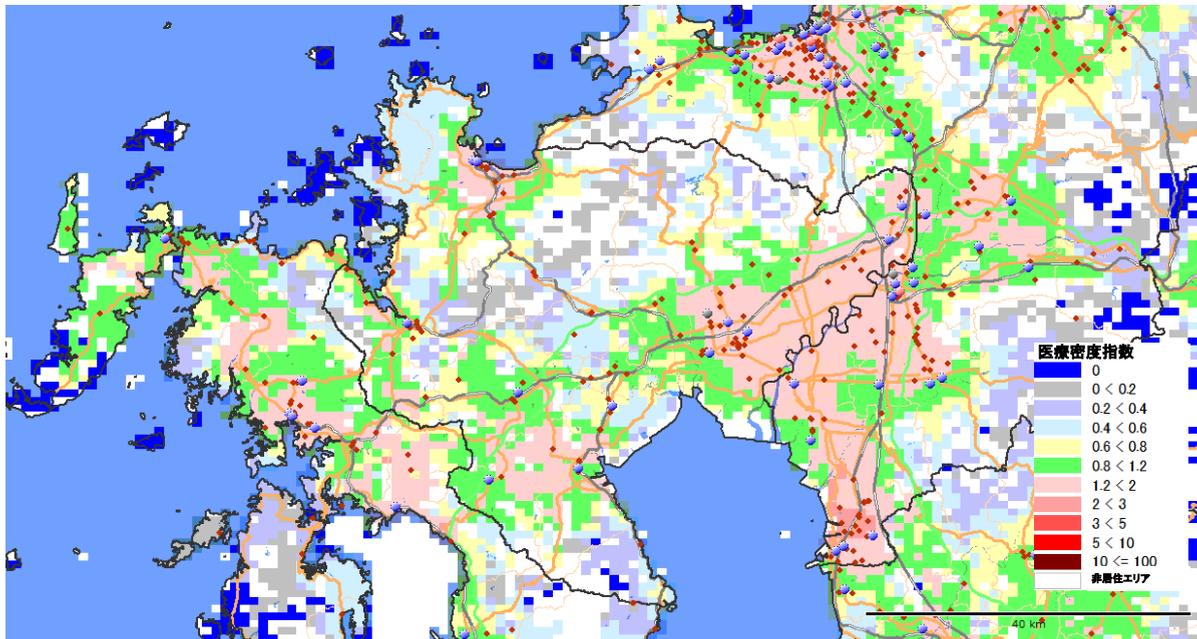
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5475床(75歳以上1000人当たり56(全国平均32)偏差値63)であったが、2014年に4753床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値66)と、722床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3960床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。

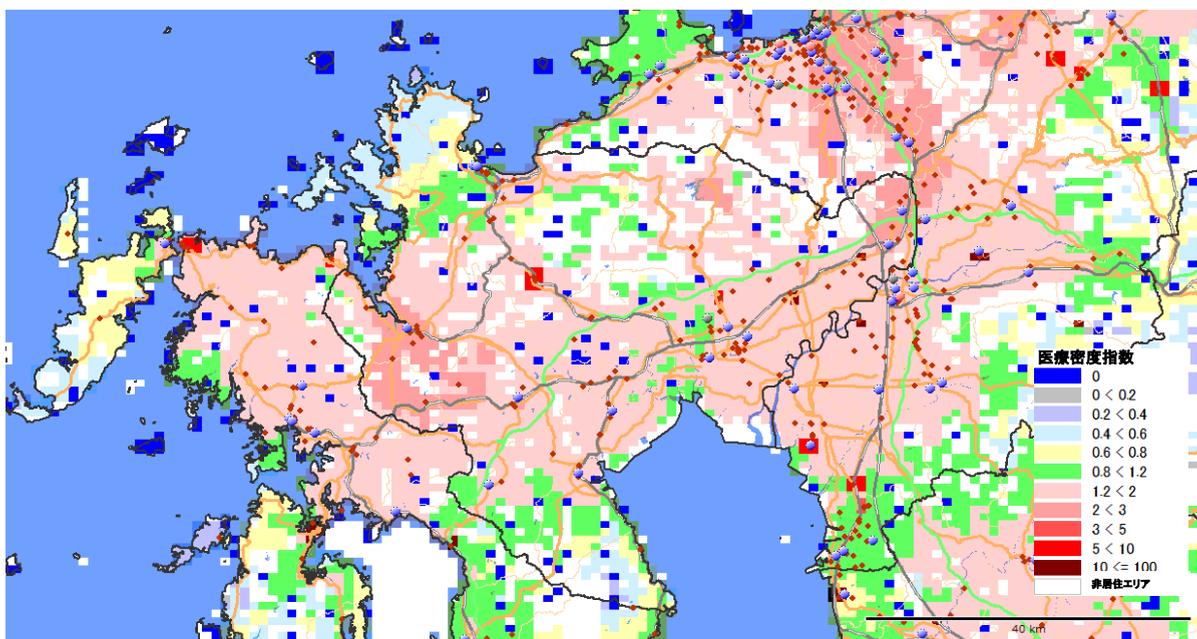


3. 医療密度⁵

図表41-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-2 慢性期医療密度指数マップ



41. 佐賀県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 41-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
佐賀県	828	42位	2,440	42位	339.3		28%	775	680	122	143	151	-6%	-12%	17%	6%
中部	345	42%	793	33%	435.1	地方都市型	27%	324	285	48	57	62	-6%	-12%	19%	9%
東部	123	15%	159	6%	777.1	地方都市型	26%	121	115	15	21	22	-2%	-5%	40%	5%
北部	128	15%	523	21%	244.8	地方都市型	29%	117	100	20	22	23	-9%	-15%	10%	5%
西部	76	9%	321	13%	235.9	地方都市型	29%	70	61	12	13	14	-8%	-13%	8%	8%
南部	156	19%	644	26%	241.9	地方都市型	30%	141	120	26	29	30	-10%	-15%	12%	3%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 41-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
佐賀県	1.10	1.95	-7.5%	-13.6%
中部	1.18	1.93	-25.1%	-35.0%
東部	1.35	1.69	1.8%	-5.0%
北部	0.97	2.82	0.3%	-2.1%
西部	0.85	2.50	-1.0%	-4.2%
南部	0.95	1.87	-1.8%	-6.0%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 41-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
佐賀県	380	65	1.157	288	59
中部	385	66	1.203	277	56
東部	413	73	1.238	250	49
北部	342	56	1.103	292	60
西部	371	63	1.135	322	68
南部	385	66	1.213	316	67
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 41-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
佐賀県	108	1.3%	13.0	65	684	0.7%	83	52
中部	39	36%	11.3	61	308	45%	89	55
東部	14	13%	11.4	61	103	15%	84	52
北部	18	17%	14.0	68	100	15%	78	49
西部	12	11%	15.9	72	61	9%	81	51
南部	25	23%	16.1	73	112	16%	72	46
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 41-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
佐賀県	684	0.7%	83	52	507	0.6%	61	44	177	2.1%	21.4	72
中部	308	45%	89	55	233	46%	68	47	75	42%	21.7	73
東部	103	15%	84	52	84	17%	68	48	19	11%	15.4	63
北部	100	15%	78	49	75	15%	59	43	25	14%	19.5	69
西部	61	9%	81	51	44	9%	58	42	17	10%	22.5	74
南部	112	16%	72	46	71	14%	46	36	41	23%	26.3	80
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

41. 佐賀県（2016年版）

資_図表 41-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
佐賀県	15,108	1.0%	1,825	62	2,603	2.3%	314	71	17,711	1.1%	2,139	64
中部	5,878	39%	1,703	59	1,086	42%	315	71	6,964	39%	2,018	62
東部	2,394	16%	1,943	64	275	11%	223	63	2,669	15%	2,167	65
北部	2,134	14%	1,665	58	354	14%	276	68	2,488	14%	1,942	61
西部	1,358	9%	1,795	61	275	11%	363	76	1,633	9%	2,158	65
南部	3,344	22%	2,148	68	613	24%	394	79	3,957	22%	2,541	71
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 41-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
佐賀県	6,423	0.7%	776	53	4,364	1.3%	527	63	4,267	1.3%	515	61
中部	3,121	49%	904	59	1,267	29%	367	55	1,482	35%	429	57
東部	707	11%	574	44	881	20%	715	72	772	18%	627	66
北部	858	13%	670	48	661	15%	516	62	611	14%	477	60
西部	484	8%	640	47	530	12%	700	71	340	8%	449	58
南部	1,253	20%	805	54	1,025	23%	658	69	1,062	25%	682	69
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 41-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
佐賀県	510	0.7%	62	51	396	1.1%	48	53
中部	150	29%	43	47	109	28%	32	49
東部	154	30%	125	65	134	34%	109	66
北部	37	7%	29	44	23	6%	18	47
西部	72	14%	95	58	60	15%	79	59
南部	97	19%	62	51	70	18%	45	52
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資_図表 41-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
佐賀県	4,523	3,738	230	10,564	2,685	4,144	58.2%	52	5.3%	48
中部	2,565	1,967	89	3,313	1,154	1,178	63.0%	54	7.0%	49
東部	470	436	0	1,934	271	891	61.7%	54	0.0%	46
北部	626	521	101	1,508	337	560	60.7%	54	15.3%	53
西部	318	274	40	1,030	210	490	56.6%	52	7.5%	49
南部	544	540	0	2,779	713	1,025	43.1%	46	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 41-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
佐賀県	23,880	0.8%	2,885	56	8,352	0.8%	1,009	57
中部	10,908	46%	3,161	59	4,116	49%	1,193	63
東部	924	4%	750	36	492	6%	399	36
北部	3,120	13%	2,435	52	1,068	13%	833	51
西部	900	4%	1,189	40	984	12%	1,300	67
南部	8,028	34%	5,156	78	1,692	20%	1,087	60
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 41-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
佐賀県	2,538	0.7%	307	54	1,691	0.8%	204	56	847	0.6%	102	50
中部	1,347	53%	390	63	962	57%	279	67	385	45%	112	53
東部	277	11%	225	45	143	8%	116	43	134	16%	109	52
北部	334	13%	261	49	209	12%	163	50	126	15%	98	48
西部	157	6%	207	43	94	6%	125	44	62	7%	82	44
南部	424	17%	272	50	284	17%	182	52	140	17%	90	46
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

41. 佐賀県 (2016年版)

資_図表 41-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
佐賀県	127	0.8%	15.3	54	89	0.7%	10.8	52	67	0.6%	8.1	50
中部	76	60%	22.0	64	62	70%	18.0	68	35	52%	10.1	55
東部	10	8%	8.1	44	7	8%	5.7	41	3	4%	2.4	35
北部	22	17%	17.2	57	9	10%	7.0	44	10	15%	7.8	49
西部	6	5%	7.9	43	4	4%	5.3	40	6	9%	7.9	49
南部	13	10%	8.3	44	7	8%	4.5	38	13	19%	8.3	50
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
佐賀県	34	0.6%	4.1	50	57	0.6%	6.9	48	52	0.7%	6.3	51
中部	22	65%	6.4	60	30	53%	8.7	54	32	62%	9.3	63
東部	4	12%	3.2	46	5	9%	4.1	40	5	10%	4.1	43
北部	3	9%	2.3	41	6	11%	4.7	41	4	8%	3.1	39
西部	1	3%	1.3	37	3	5%	4.0	39	3	6%	4.0	43
南部	4	12%	2.6	43	13	23%	8.3	53	8	15%	5.1	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
佐賀県	69	0.8%	8.3	55	140	0.7%	16.9	51	144	0.9%	17.4	62
中部	37	54%	10.7	62	68	49%	19.7	55	79	55%	22.9	74
東部	12	17%	9.7	59	12	9%	9.7	41	15	10%	12.2	50
北部	1	1%	0.8	34	19	14%	14.8	48	22	15%	17.2	61
西部	2	3%	2.6	39	12	9%	15.9	50	5	3%	6.6	38
南部	17	25%	10.9	62	29	21%	18.6	54	23	16%	14.8	56
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
佐賀県	48	0.8%	5.8	56	48	0.8%	5.8	53	49	0.9%	5.9	56
中部	24	50%	7.0	62	20	42%	5.8	53	26	53%	7.5	61
東部	6	13%	4.9	52	7	15%	5.7	53	11	22%	8.9	66
北部	8	17%	6.2	58	6	13%	4.7	49	3	6%	2.3	44
西部	2	4%	2.6	41	3	6%	4.0	45	0	0%	0	36
南部	8	17%	5.1	53	12	25%	7.7	61	9	18%	5.8	55
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
佐賀県	55	0.8%	6.6	55	9	0.6%	1.1	49	26	0.8%	3.1	53
中部	37	67%	10.7	68	7	78%	2.0	59	21	81%	6.1	70
東部	4	7%	3.2	44	0	0%	0	37	1	4%	0.8	40
北部	5	9%	3.9	46	1	11%	0.8	45	1	4%	0.8	39
西部	2	4%	2.6	42	0	0%	0	37	2	8%	2.6	50
南部	7	13%	4.5	48	1	11%	0.6	44	1	4%	0.6	39
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
佐賀県	12	0.6%	1.4	49	21	0.9%	2.5	55
中部	8	67%	2.3	56	8	38%	2.3	53
東部	1	8%	0.8	44	3	14%	2.4	54
北部	0	0%	0	37	5	24%	3.9	65
西部	0	0%	0	37	1	5%	1.3	46
南部	3	25%	1.9	53	4	19%	2.6	55
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

41. 佐賀県（2016年版）

資_図表 41-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
佐賀県	11,295	1.0%	1,364	67	8,743	1.0%	1,056	64	2,552	1.3%	308	71
中部	4,940	44%	1,431	69	3,672	42%	1,064	65	1,268	50%	367	79
東部	1,430	13%	1,161	60	1,174	13%	953	60	257	10%	208	57
北部	1,582	14%	1,235	63	1,207	14%	942	59	376	15%	293	69
西部	1,005	9%	1,328	66	762	9%	1,007	62	243	10%	321	72
南部	2,338	21%	1,501	72	1,928	22%	1,238	72	410	16%	263	65
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 41-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
佐賀県	1,480	1.2%	179	66	1,799	0.6%	217	49
中部	533	36%	154	62	870	48%	252	53
東部	324	22%	263	83	289	16%	235	51
北部	171	12%	133	58	236	13%	184	46
西部	156	11%	206	72	111	6%	147	42
南部	296	20%	190	68	293	16%	188	46
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 41-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
佐賀県	145	1.0%	1.2	57	11	1.0%	0.1	53	68	0.7%	0.6	49
中部	51	35%	1.1	54	5	45%	0.1	56	25	37%	0.5	47
東部	33	23%	2.1	77	3	27%	0.2	70	14	21%	0.9	68
北部	27	19%	1.3	60	0	0%	0	39	9	13%	0.4	43
西部	7	5%	0.6	43	0	0%	0	39	9	13%	0.8	59
南部	27	19%	1.0	53	3	27%	0.1	57	11	16%	0.4	41
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 41-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
佐賀県	11,331	0.7%	93	46	7,454	0.8%	61	51	3,877	0.6%	32	45
中部	4,177	37%	87	43	2,747	37%	57	48	1,430	37%	30	44
東部	1,854	16%	120	63	865	12%	56	47	989	26%	64	67
北部	1,909	17%	95	48	1,291	17%	64	54	618	16%	31	44
西部	1,091	10%	92	45	756	10%	64	53	335	9%	28	42
南部	2,300	20%	87	43	1,795	24%	68	56	505	13%	19	36
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 41-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
佐賀県	2,926	0.8%	24	54	3,545	0.6%	29	45	983	1.5%	8.1	60
中部	1,246	43%	26	57	1,243	35%	26	42	258	26%	5.4	53
東部	240	8%	16	39	495	14%	32	48	130	13%	8.4	60
北部	500	17%	25	55	698	20%	35	51	93	9%	4.6	51
西部	240	8%	20	47	360	10%	30	47	156	16%	13.1	72
南部	700	24%	26	58	749	21%	28	45	346	35%	13.1	72
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
佐賀県	936	0.4%	7.7	44	100	0.4%	0.8	47	2,273	1.2%	18.7	63
中部	249	27%	5.2	42	50	50%	1.0	48	764	34%	16.0	58
東部	260	28%	16.9	53	50	50%	3.2	59	504	22%	32.7	88
北部	170	18%	8.5	45	0	0%	0	43	448	20%	22.4	69
西部	135	14%	11.3	48	0	0%	0	43	189	8%	15.9	58
南部	122	13%	4.6	41	0	0%	0	43	368	16%	13.9	54
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

41. 佐賀県（2016年版）

資_図表 41-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
佐賀県	568	0.3%	4.7	38	30	0.2%	0.2	47	538	0.3%	4.4	38
中部	367	65%	7.7	42	0	0%	0	45	367	68%	7.7	43
東部	175	31%	11.4	48	30	100%	1.9	57	145	27%	9.4	46
北部	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
西部	11	2%	0.9	32	0	0%	0	45	11	2%	0.9	32
南部	15	3%	0.6	32	0	0%	0	45	15	3%	0.6	32
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 41-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
佐賀県	1,479	0.9%	12.2	60	1,185	1.0%	9.7	62	295	0.7%	2.4	48
中部	448	30%	9.4	48	342	29%	7.2	50	106	36%	2.2	46
東部	208	14%	13.5	66	154	13%	10.0	63	54	18%	3.5	61
北部	228	15%	11.4	57	190	16%	9.5	61	37	13%	1.9	42
西部	211	14%	17.7	84	181	15%	15.2	87	30	10%	2.5	50
南部	384	26%	14.5	70	317	27%	12.0	72	67	23%	2.5	50
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
佐賀県	11,855	0.8%	98	56	10,854	0.9%	89	61	1,001	0.4%	8.2	40
中部	4,451	38%	93	52	3,980	37%	83	56	471	47%	9.9	43
東部	1,527	13%	99	57	1,402	13%	91	63	125	12%	8.1	40
北部	2,178	18%	109	65	2,045	19%	102	72	133	13%	6.6	37
西部	1,201	10%	101	59	1,112	10%	93	65	89	9%	7.5	39
南部	2,498	21%	94	54	2,314	21%	87	60	184	18%	6.9	38
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
佐賀県	9,068	0.8%	75	53	1,135	0.3%	9	35	10,441	0.7%	86	48
中部	3,954	44%	83	56	433	38%	9	35	6,009	58%	126	61
東部	2,198	24%	143	75	207	18%	13	39	859	8%	56	39
北部	1,348	15%	67	51	132	12%	7	33	1,556	15%	78	46
西部	436	5%	37	41	158	14%	13	39	710	7%	60	40
南部	1,132	12%	43	43	205	18%	8	34	1,307	13%	49	37
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
佐賀県		866,369	827,826	-4%	774,676	-11%	6%	2%	8%
中部	地方都市型	359,589	345,116	-4%	324,222	-10%	6%	3%	9%
東部	地方都市型	119,859	123,193	3%	121,484	1%	15%	8%	24%
北部	地方都市型	137,854	128,137	-7%	117,309	-15%	3%	0%	2%
西部	地方都市型	79,760	75,671	-5%	70,170	-12%	4%	1%	5%
南部	地方都市型	169,307	155,709	-8%	141,491	-16%	1%	-1%	-1%
出典	<人口(2005年)> 平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 41-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
佐賀県	112	12.9	65	108	13.0	65	-4	-4%	104
中部	39	10.8	60	39	11.3	61	0	0%	39
東部	14	11.7	62	14	11.4	61	0	0%	14
北部	19	13.8	67	18	14.0	68	-1	-5%	17
西部	14	17.6	77	12	15.9	72	-2	-14%	10
南部	26	15.4	71	25	16.1	73	-1	-4%	24
出典	<病院数2004年> 平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年> 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

41. 佐賀県（2016年版）

資_図表 41-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
佐賀県	678	78	51	684	83	52	6	1%	690
中部	308	86	55	308	89	55	0	0%	308
東部	99	83	53	103	84	52	4	4%	107
北部	111	81	52	100	78	49	-11	-10%	88
西部	50	63	43	61	81	51	11	22%	73
南部	110	65	45	112	72	46	2	2%	114
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 41-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
佐賀県	1,985	229	52	2,319	280	54	334	17%	2,687
中部	1,079	300	61	1,325	384	64	246	23%	1,596
東部	189	158	44	224	182	44	35	19%	263
北部	245	178	46	276	215	47	31	13%	310
西部	129	162	44	121	160	41	-8	-6%	112
南部	343	203	49	373	240	49	30	9%	406
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 41-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
佐賀県	19,063	220	64	17,711	214	64	-1,352	-7%	16,223
中部	7,632	212	63	6,964	202	62	-668	-9%	6,229
東部	2,760	230	66	2,669	217	65	-91	-3%	2,569
北部	2,786	202	61	2,488	194	61	-298	-11%	2,160
西部	1,730	217	63	1,633	216	65	-97	-6%	1,526
南部	4,155	245	69	3,957	254	71	-198	-5%	3,739
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 41-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
佐賀県	8,981	104	57	8,637	104	59	-344	-4%	8,258	107
中部	4,203	117	62	4,056	118	64	-147	-3%	3,894	120
東部	1,026	86	51	944	77	49	-82	-8%	854	70
北部	1,230	89	52	1,127	88	53	-103	-8%	1,014	86
西部	672	84	50	706	93	55	34	5%	743	106
南部	1,850	109	59	1,804	116	64	-46	-2%	1,753	124
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 41-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
佐賀県	5,475	56	63	4,753	39	66	-722	-13%	3,960	28
中部	1,843	49	60	1,418	30	58	-425	-23%	951	17
東部	902	81	78	919	60	84	17	2%	938	45
北部	846	51	61	746	37	64	-100	-12%	636	28
西部	676	69	71	583	49	74	-93	-14%	481	36
南部	1,208	53	62	1,087	41	68	-121	-10%	954	33
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

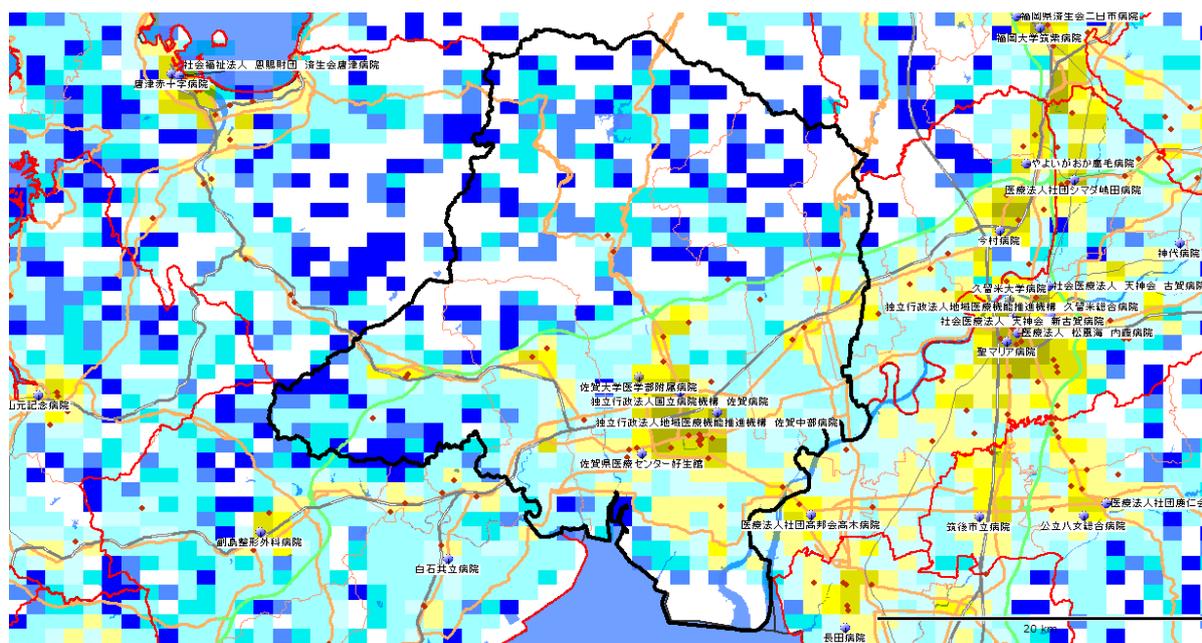
資_図表 41-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
佐賀県	394	66	1.199	176	67	1.393	193	59	1.088
中部	396	66	1.203	168	64	1.319	203	65	1.142
東部	422	72	1.234	191	73	1.450	206	67	1.109
北部	363	58	1.137	163	63	1.322	179	51	1.037
西部	394	66	1.170	192	73	1.478	180	51	0.988
南部	398	67	1.220	189	72	1.497	184	54	1.047
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

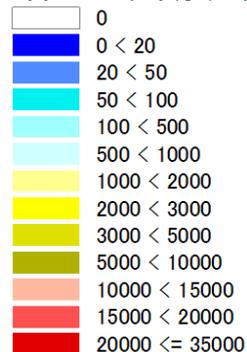
41-1. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村¹⁰ [佐賀市](#) [多久市](#) [小城市](#) [神埼市](#)
[吉野ヶ里町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

(中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中部(佐賀市)は、総人口約345千人(2015年推計)、面積793km²、人口密度は435人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中部の総人口は2025年に324千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に285千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて57千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には62千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値66)、介護給付費は277千円(偏差値56)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.18、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.93で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が63(病院医師数67、診療所医師数53)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は69と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は59と多い。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の佐賀県医療センター好生館(Ⅱ群・救命)、佐賀大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、500例以上の国立病院機構佐賀病院(Ⅲ群)、JCHO佐賀中部病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4177人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2747床(偏差値48)、高齢者住宅等が1430床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3980人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム42、軽費ホーム48、グループホーム58、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、471人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-35%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年359589人が、2015年に345116人と4%減少し、2025年の人口が324222人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

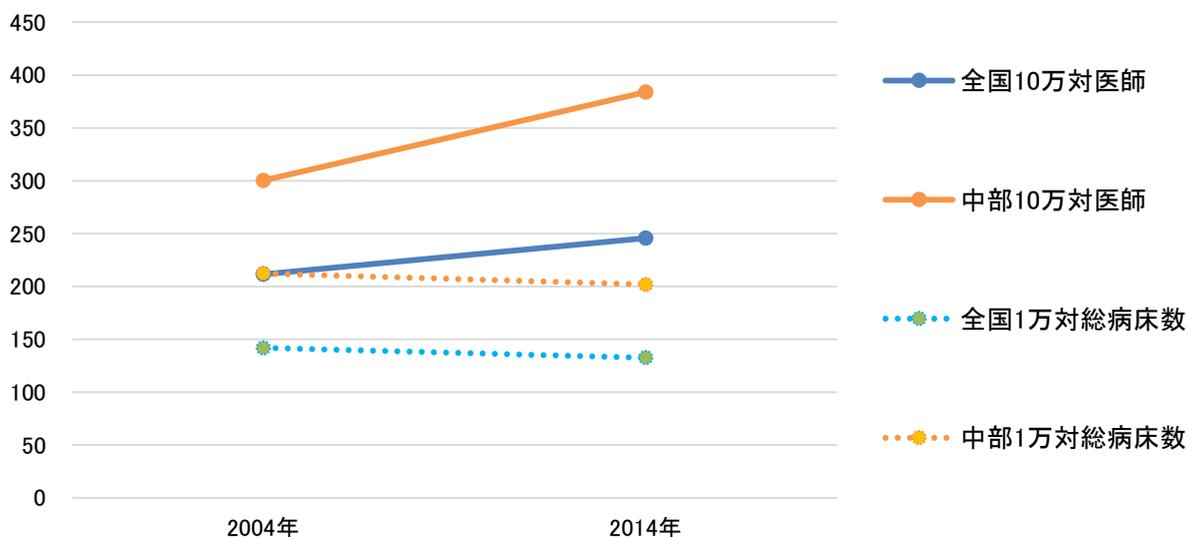
2004年の病院数が39(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に39(人口10万人当たり11.3病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が308(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に308(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が7632床(人口1万人当たり212(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に6964床(人口1万人当たり202(全国平均133)偏差値62)と、668床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

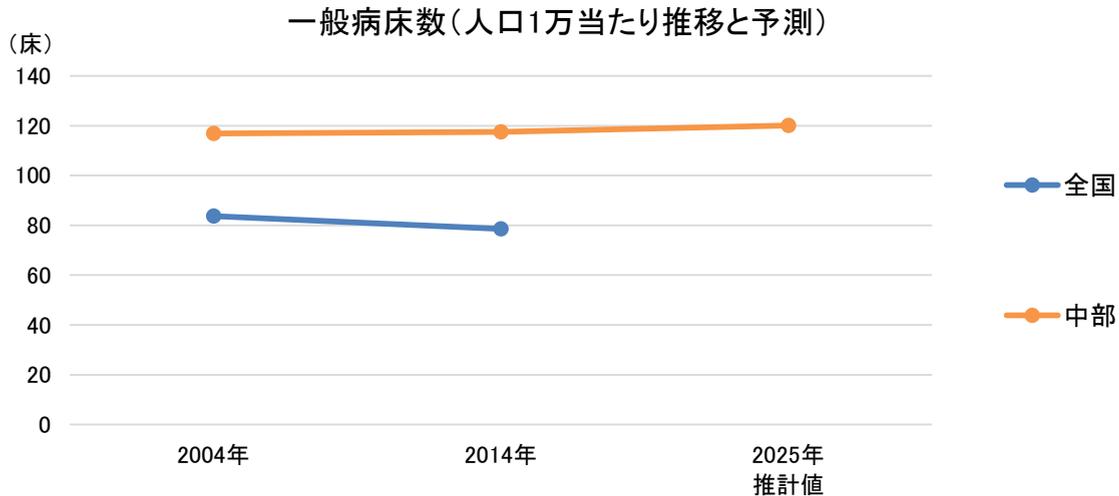
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1079人(人口10万人当たり300人(全国平均212人)偏差値61)であったが、2014年に1325人(人口10万人当たり384人(全国平均246人)偏差値64)と、246人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



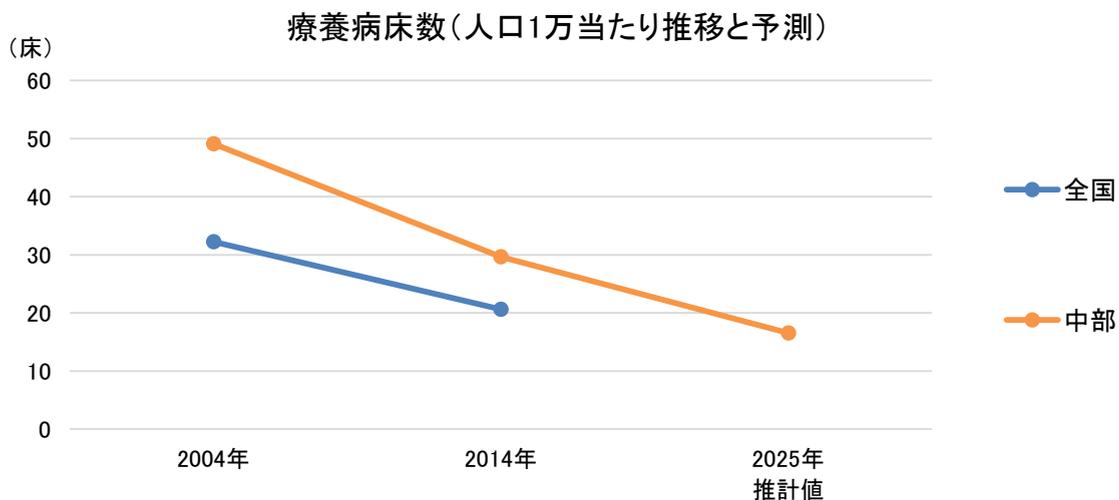
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4203床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に4056床(人口1万人当たり118(全国平均79)偏差値64)と、147床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3894床(2025年の推計人口1万人当たり120)になることが予想される。



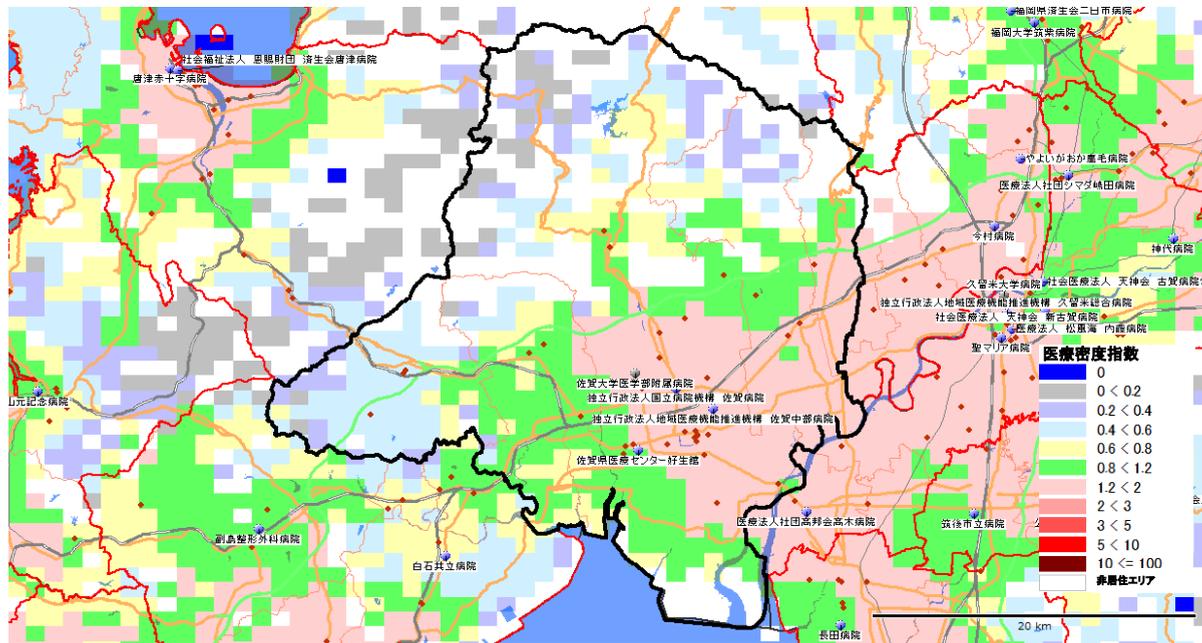
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1843床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1418床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、425床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には951床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。

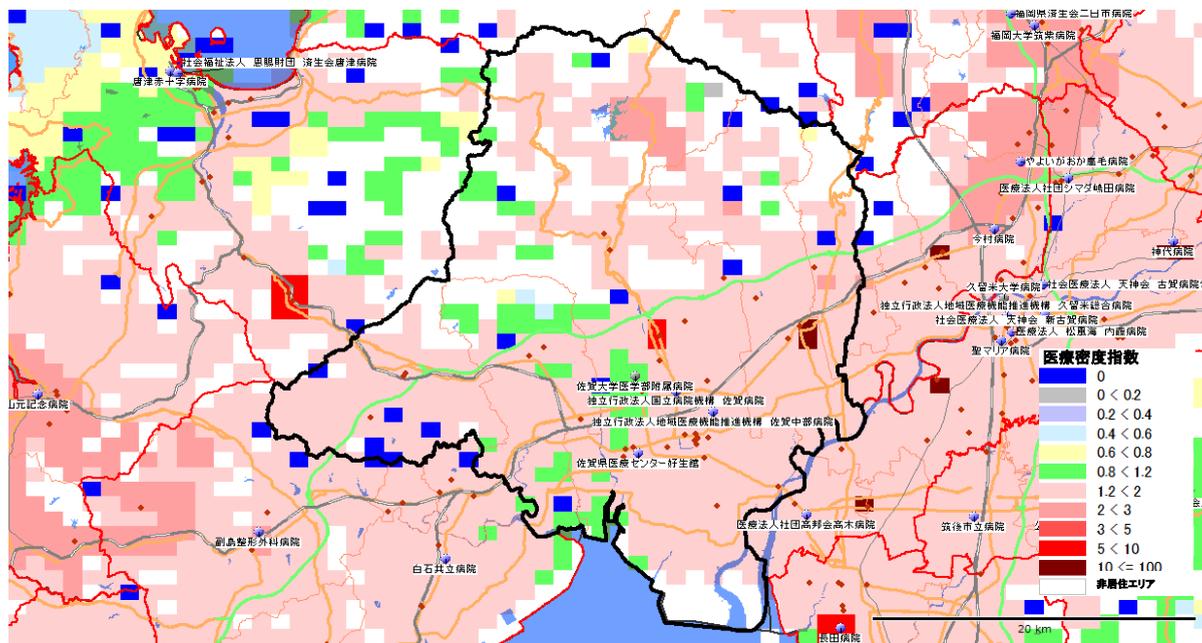


3. 医療密度⁵

図表41-1-1 急性期医療密度指数マップ



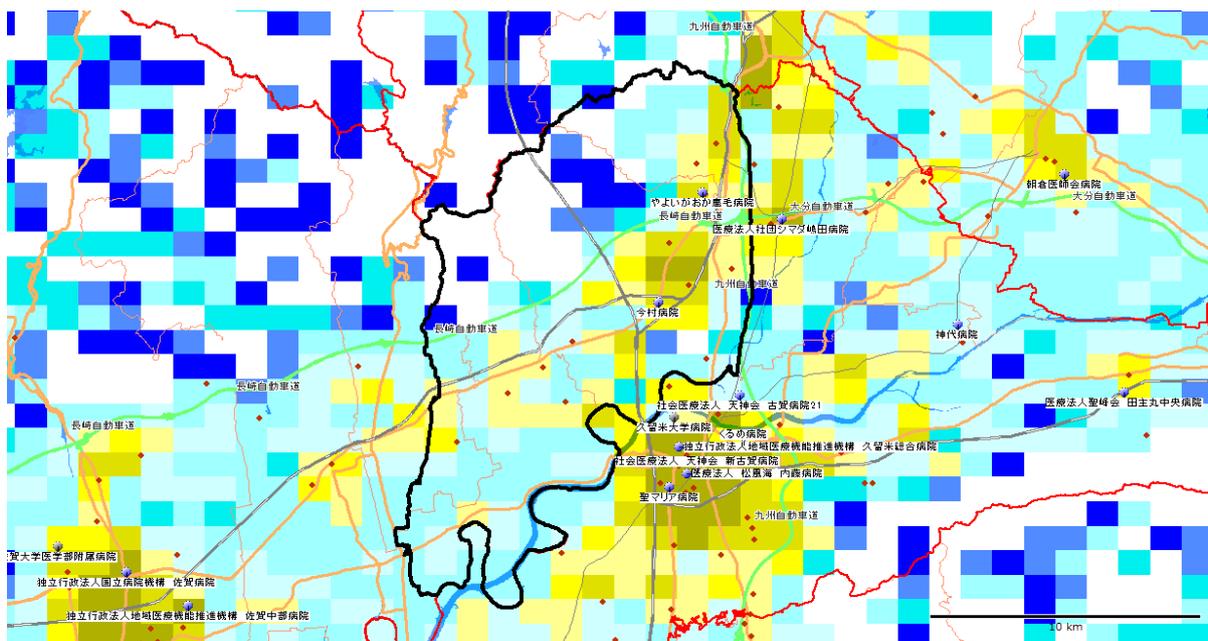
図表41-1-2 慢性期医療密度指数マップ



41-2. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村¹⁰ [鳥栖市](#) [基山町](#) [上峰町](#) [みやき町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（東部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 東部（鳥栖市）は、総人口約123千人（2015年推計）、面積159km²、人口密度は777人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 東部の総人口は2025年に121千人へと減少し（2015年比-2%）、2040年に115千人へと減少する（2025年比-5%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて21千人へと増加し（2015年比+40%）、2040年には22千人へと増加する（2025年比+5%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 東部の一人当たり医療費（国保）は413千円（偏差値73）、介護給付費は250千円（偏差値49）であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 東部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.35、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.69で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が45（病院医師数43、診療所医師数52）と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。東部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は72と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値83と非常に多く、回復期病床数は偏差値65と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 東部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1854人（75歳以上1000人当たりの偏差値63）と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が865床（偏差値47）、高齢者住宅等が989床（偏差値67）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1402人（75歳以上1000人当たりの偏差値63）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム53、軽費ホーム59、グループホーム88、サ高住48である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値77と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値68と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、125人（75歳以上1000人当たりの偏差値40）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-5%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年119859人が、2015年に123193人と3%増加し、2025年の人口が121484人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

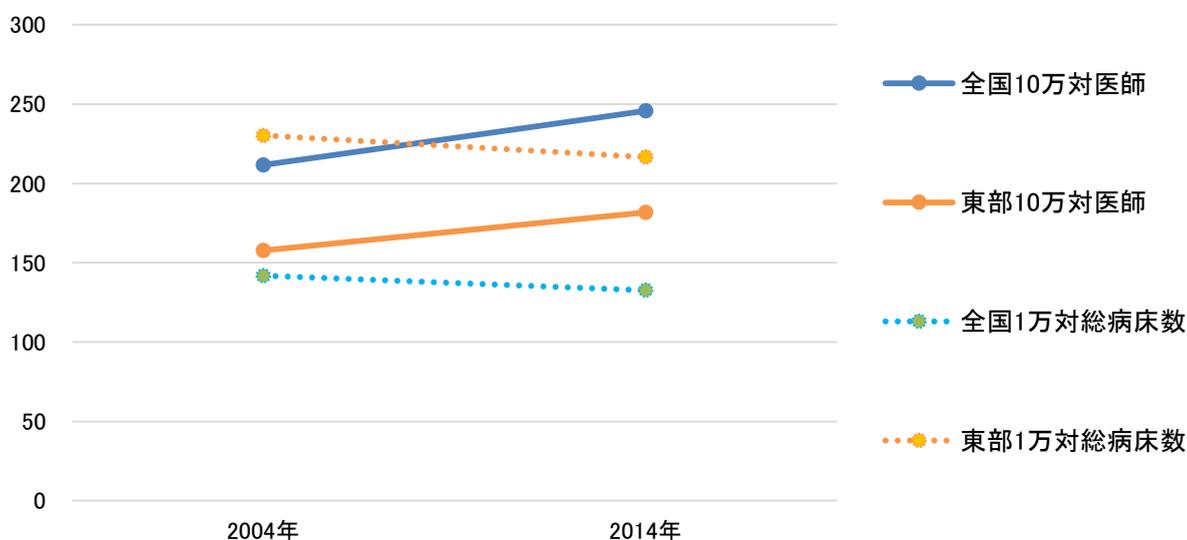
2004年の病院数が14(人口10万人当たり11.7病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に14(人口10万人当たり11.4病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が99(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に103(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値52)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が2760床(人口1万人当たり230(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に2669床(人口1万人当たり217(全国平均133)偏差値65)と、91床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が189人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に224人(人口10万人当たり182人(全国平均246人)偏差値44)と、35人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

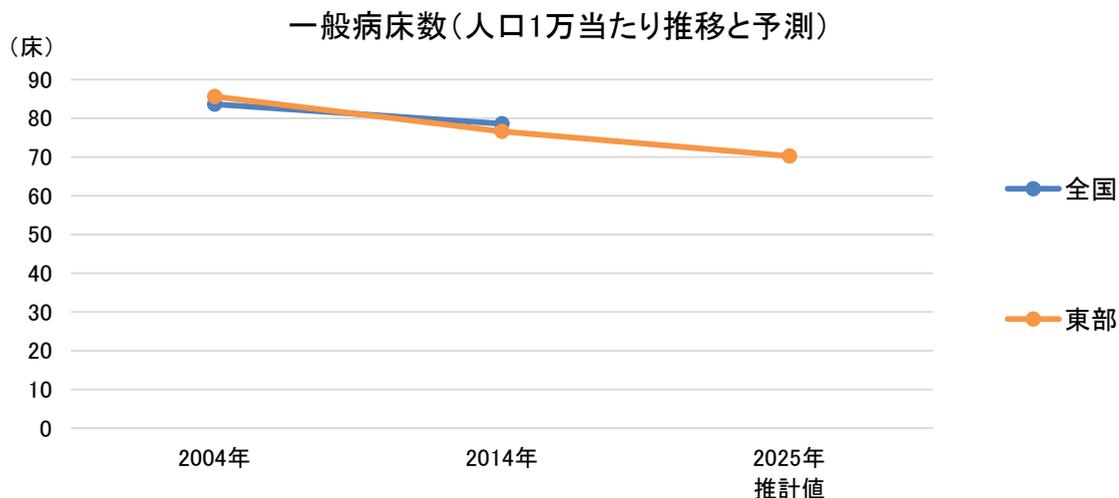
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



41. 佐賀県（2016年版）

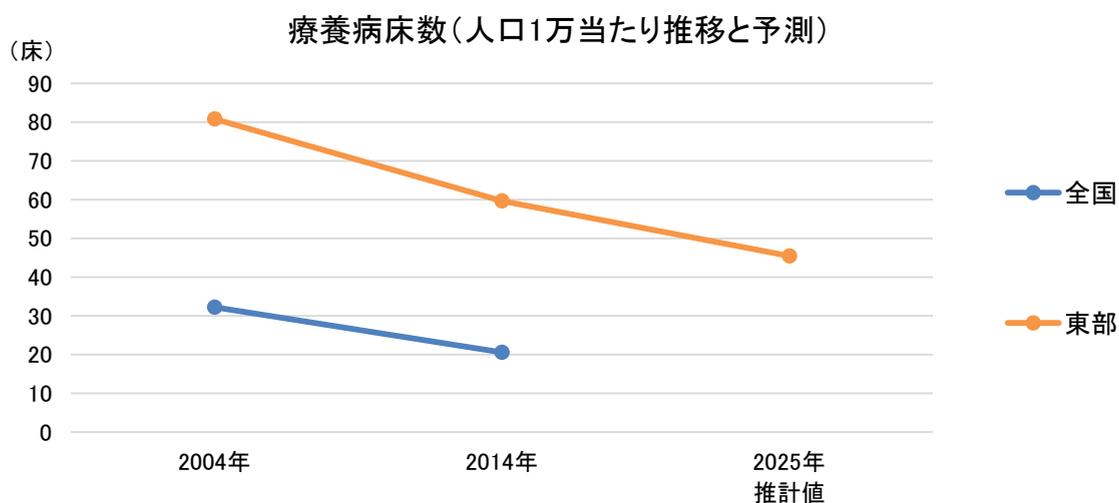
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1026床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に944床(人口1万人当たり77(全国平均79)偏差値49)と、82床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には854床(2025年の推計人口1万人当たり70)になることが予想される。



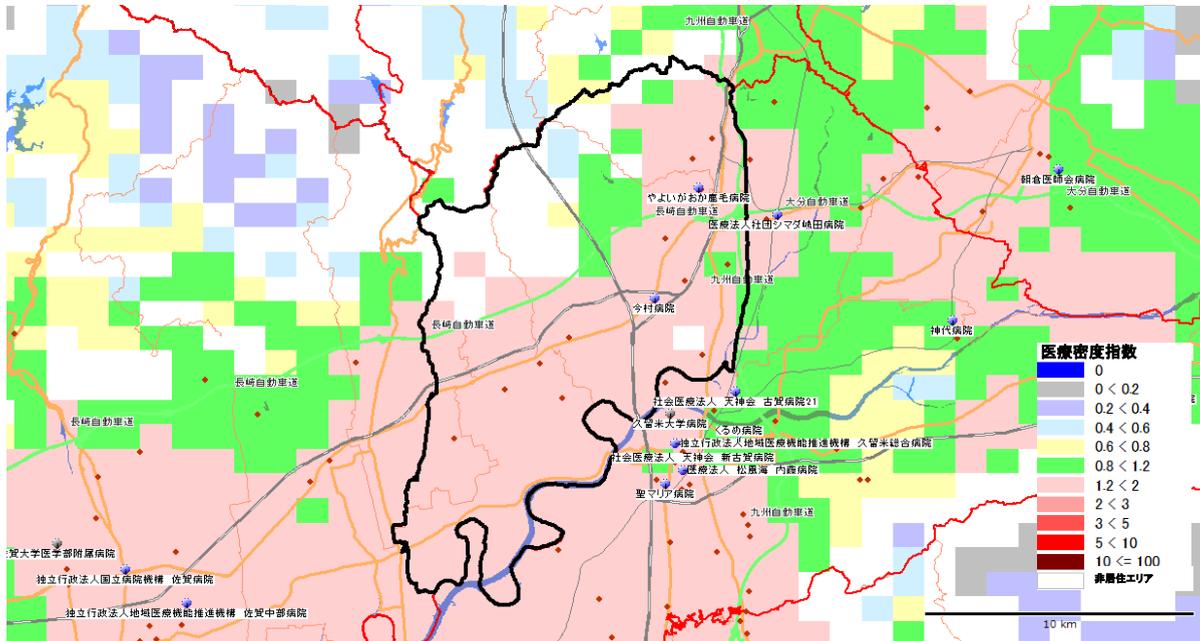
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が902床(75歳以上1000人当たり81(全国平均32)偏差値78)であったが、2014年に919床(75歳以上1000人当たり60(全国平均21)偏差値84)と、17床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には938床(2025年の推計75歳以上1000人当たり45)になることが予想される。

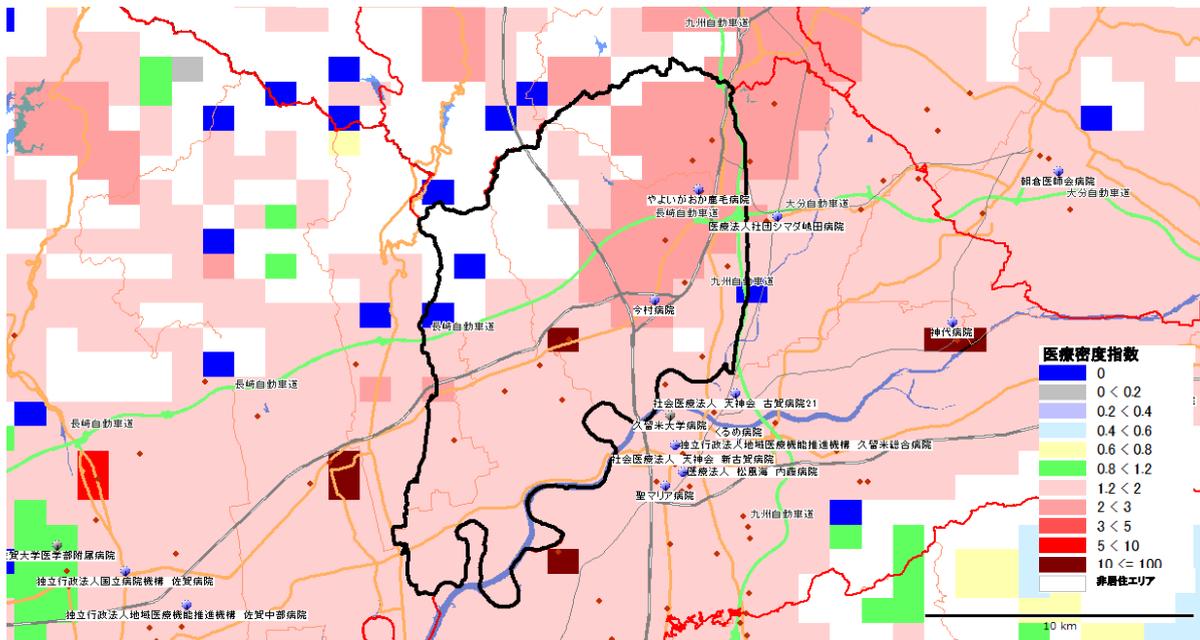


3. 医療密度⁵

図表41-2-1 急性期医療密度指数マップ



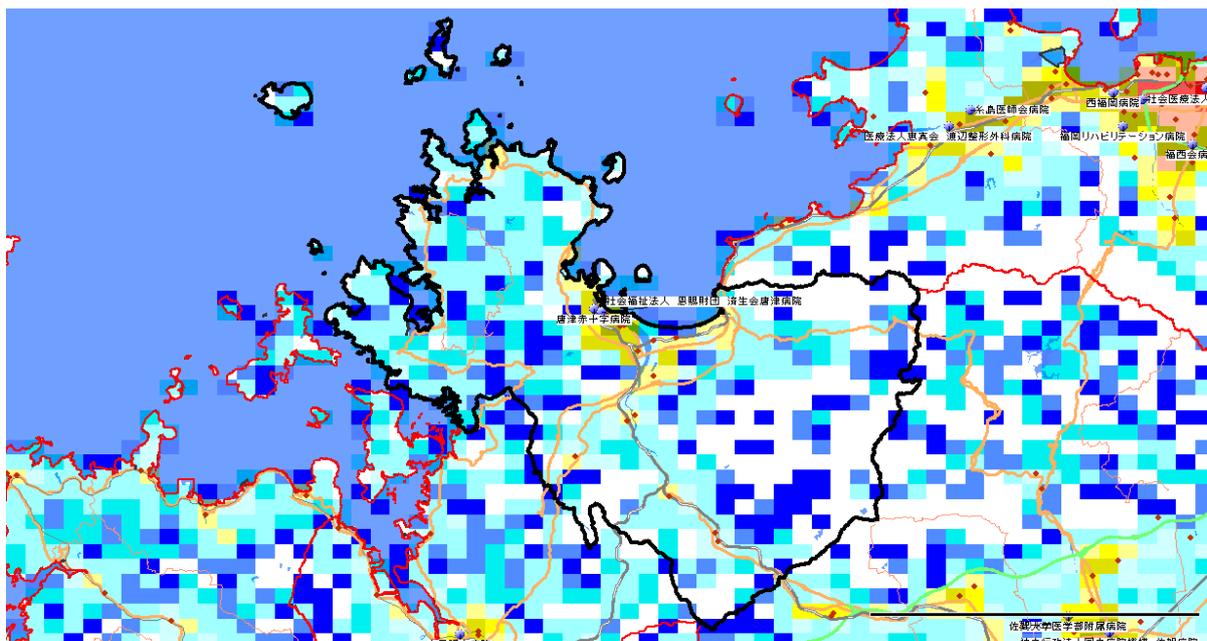
図表41-2-2 慢性期医療密度指数マップ



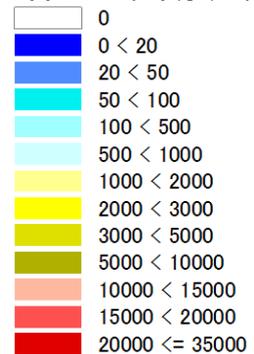
41-3. ほくぶ 北部医療圏

構成市区町村¹⁰ [唐津市](#) [玄海町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(唐津市)は、総人口約128千人(2015年推計)、面積523km²、人口密度は245人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に117千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に100千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて22千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には23千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は342千円(偏差値56)、介護給付費は292千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.97、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.82で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数50、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。北部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の唐津赤十字病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の済生会唐津病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は60で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1909人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1291床(偏差値54)、高齢者住宅等が618床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2045人(75歳以上1000人当たりの偏差値72)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム69、サ高住なし(偏差値31)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、133人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-2%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年137854人が、2015年に128137人と7%減少し、2025年の人口が117309人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

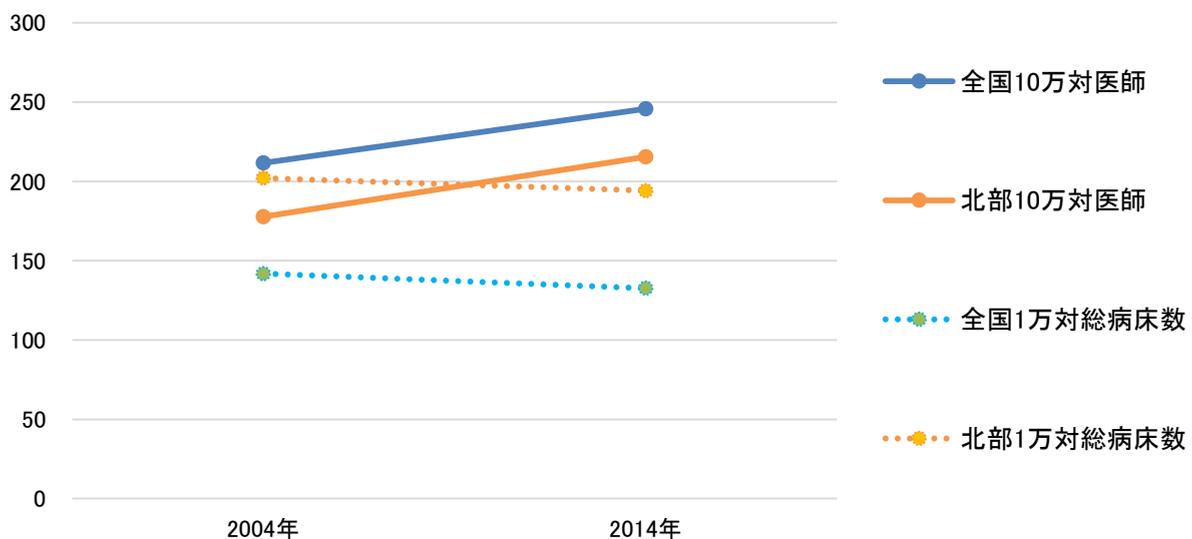
2004年の病院数が19(人口10万人当たり13.8病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に18(人口10万人当たり14病院(全国平均6.7)偏差値68)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が111(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に100(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値49)と、11診療所が減少した。

2004年の総病床数が2786床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に2488床(人口1万人当たり194(全国平均133)偏差値61)と、298床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

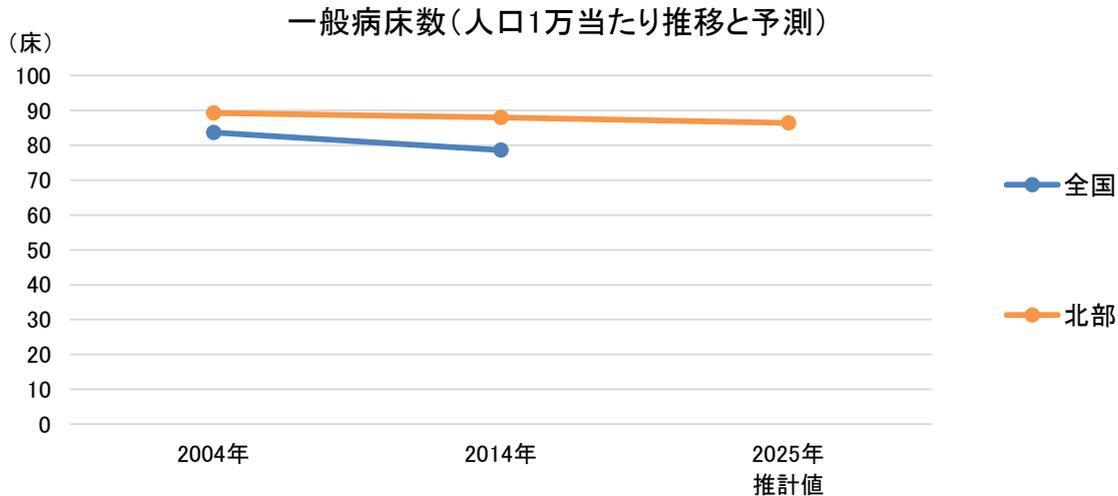
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が245人(人口10万人当たり178人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に276人(人口10万人当たり215人(全国平均246人)偏差値47)と、31人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



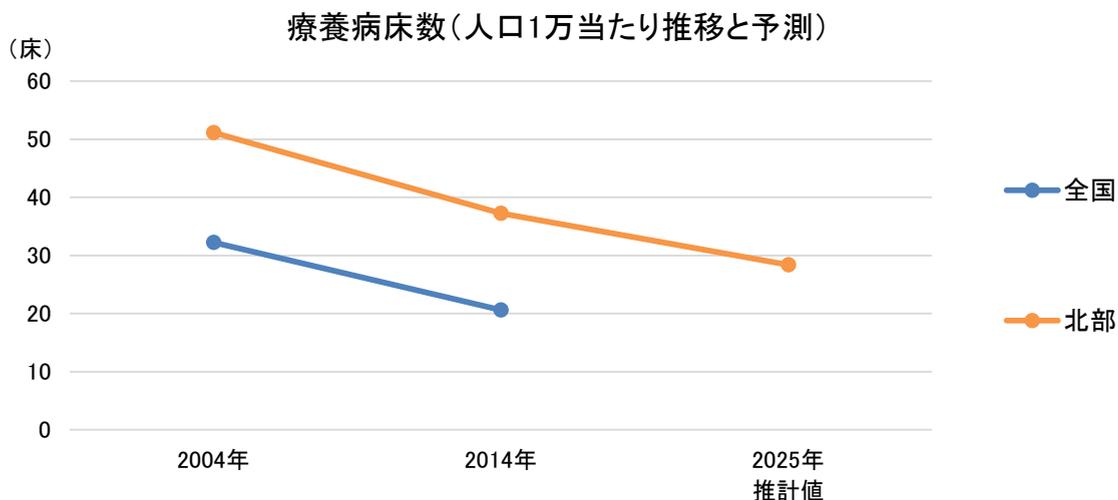
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1230床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に1127床(人口1万人当たり88(全国平均79)偏差値53)と、103床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1014床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



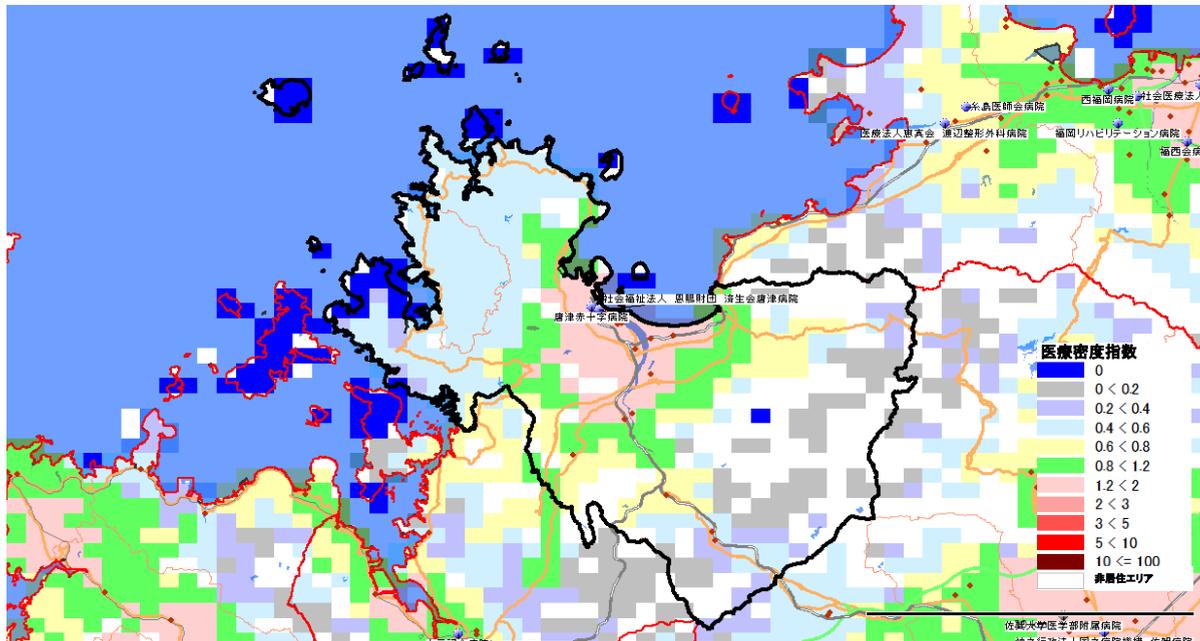
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が846床(75歳以上1000人当たり51(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に746床(75歳以上1000人当たり37(全国平均21)偏差値64)と、100床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には636床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。

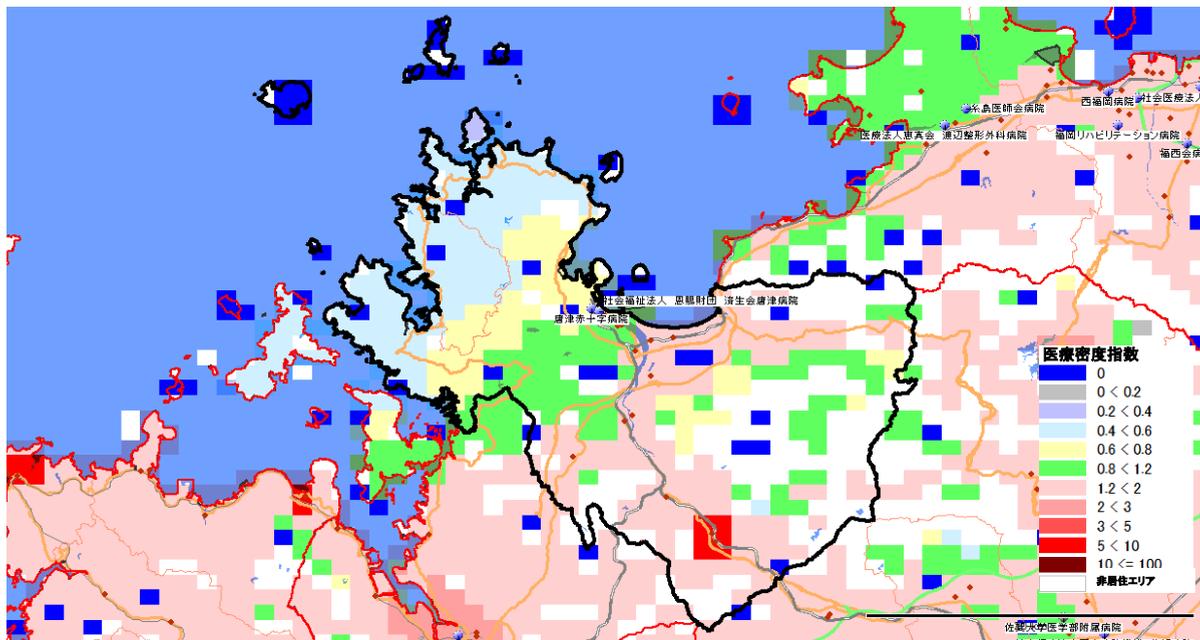


3. 医療密度⁵

図表41-3-1 急性期医療密度指数マップ



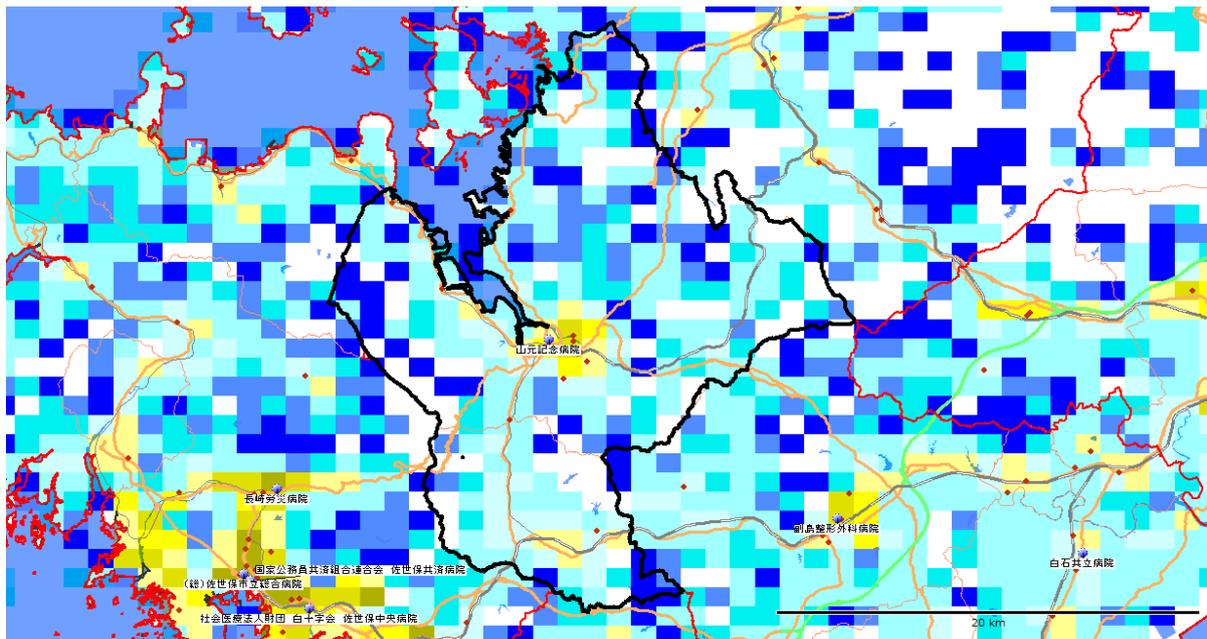
図表41-3-2 慢性期医療密度指数マップ



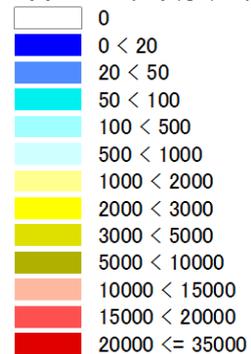
41-4. せいぶ西部医療圏

構成市区町村¹⁰ [伊万里市](#) [有田町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（西部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 西部(伊万里市)は、総人口約76千人(2015年推計)、面積321km²、人口密度は236人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 西部の総人口は2025年に70千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に61千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には14千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 西部の一人当たり医療費(国保)は371千円(偏差値63)、介護給付費は322千円(偏差値68)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 西部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.5で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が43(病院医師数44、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は66と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は71と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値72と非常に多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1091人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が756床(偏差値53)、高齢者住宅等が335床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1112人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設72、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム58、サ高住32である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、89人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-4%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年79760人が、2015年に75671人と5%減少し、2025年の人口が70170人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

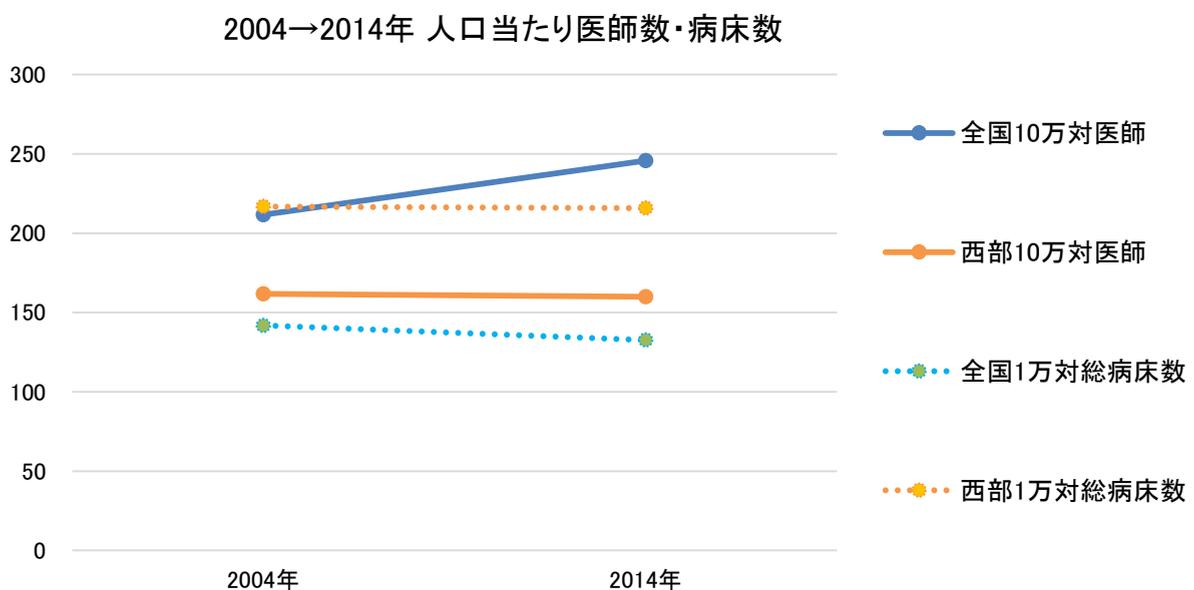
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり17.6病院(全国平均7.1)偏差値77)であったが、2014年に12(人口10万人当たり15.9病院(全国平均6.7)偏差値72)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が50(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に61(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、11診療所が増加した。

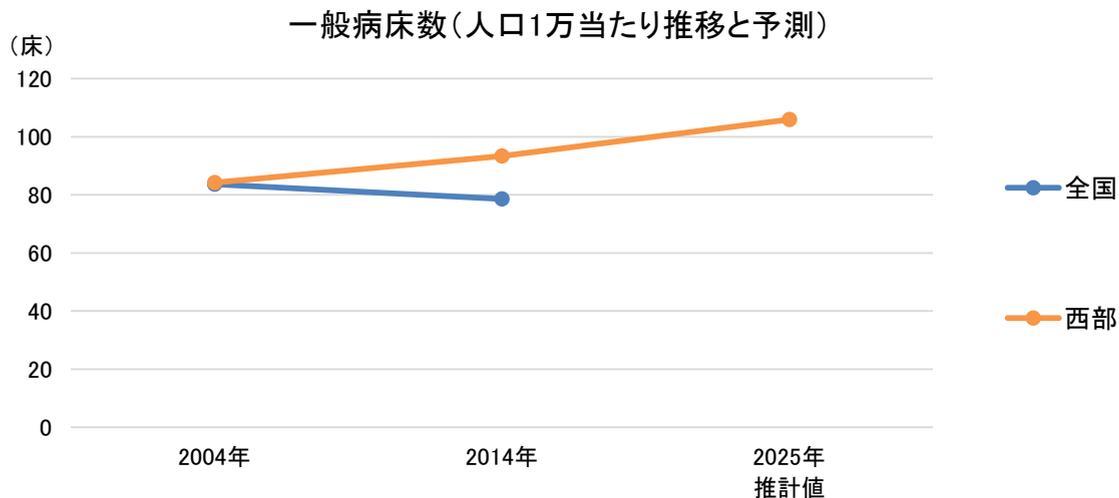
2004年の総病床数が1730床(人口1万人当たり217(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に1633床(人口1万人当たり216(全国平均133)偏差値65)と、97床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が129人(人口10万人当たり162人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に121人(人口10万人当たり160人(全国平均246人)偏差値41)と、8人の減少、率にして6%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



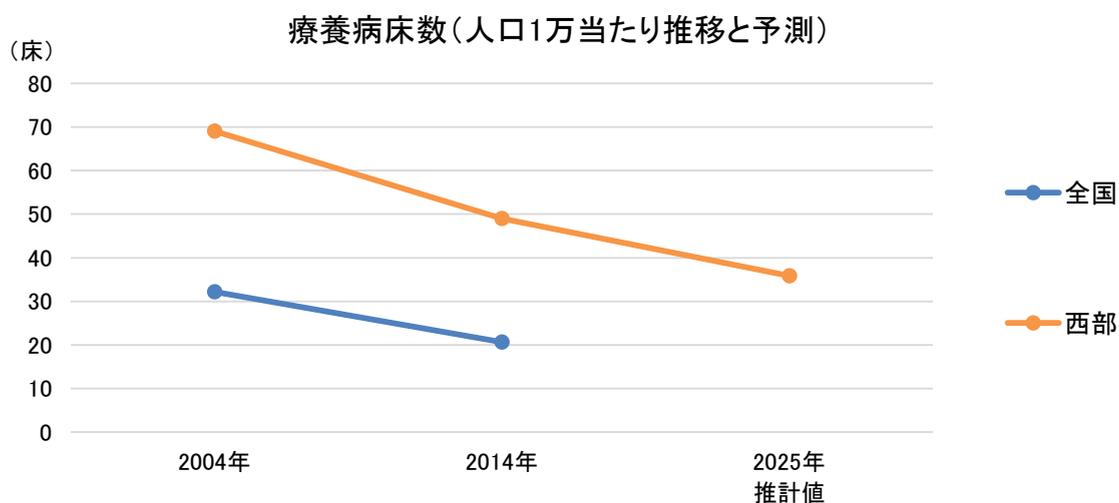
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が672床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に706床(人口1万人当たり93(全国平均79)偏差値55)と、34床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には743床(2025年の推計人口1万人当たり106)になることが予想される。



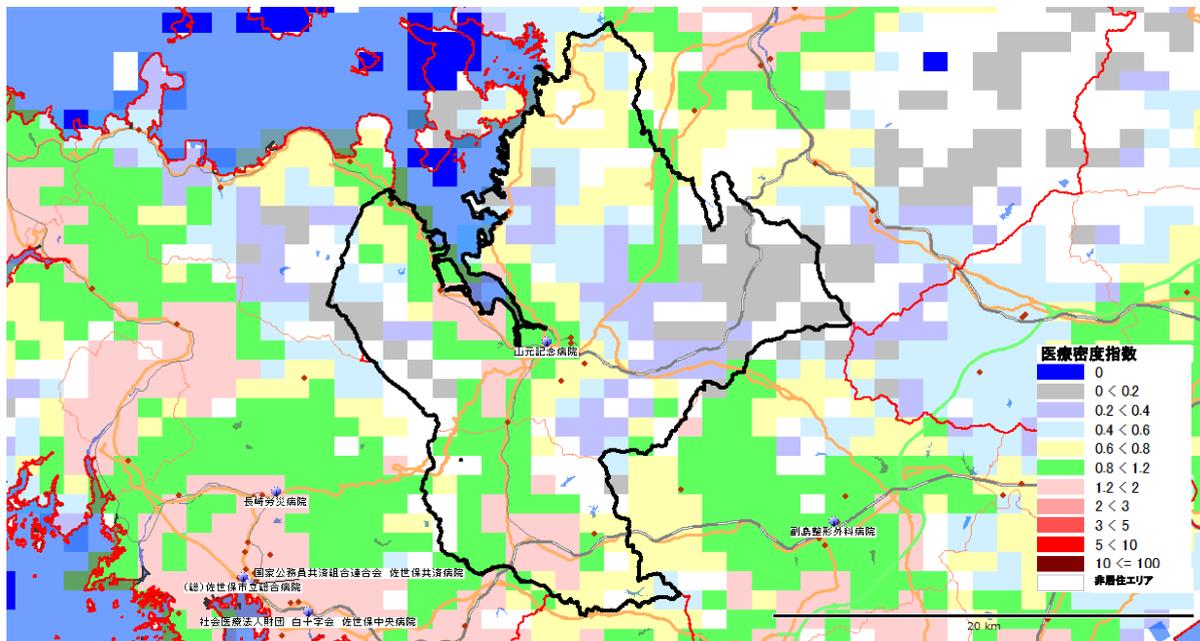
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が676床(75歳以上1000人当たり69(全国平均32)偏差値71)であったが、2014年に583床(75歳以上1000人当たり49(全国平均21)偏差値74)と、93床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には481床(2025年の推計75歳以上1000人当たり36)になることが予想される。

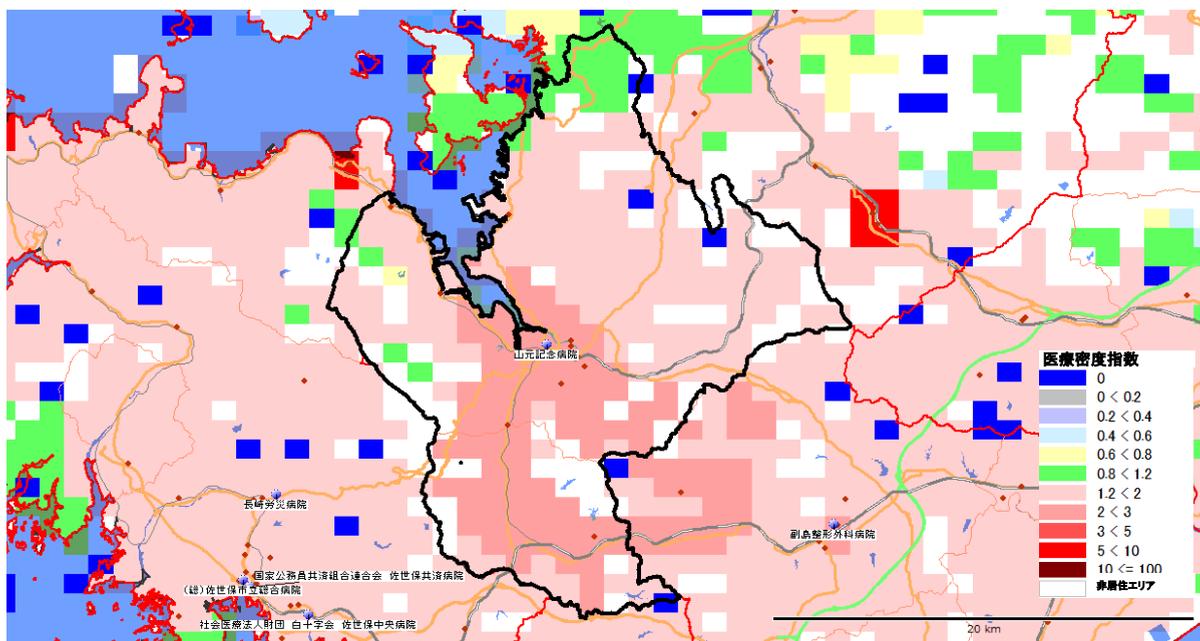


3. 医療密度⁵

図表41-4-1 急性期医療密度指数マップ



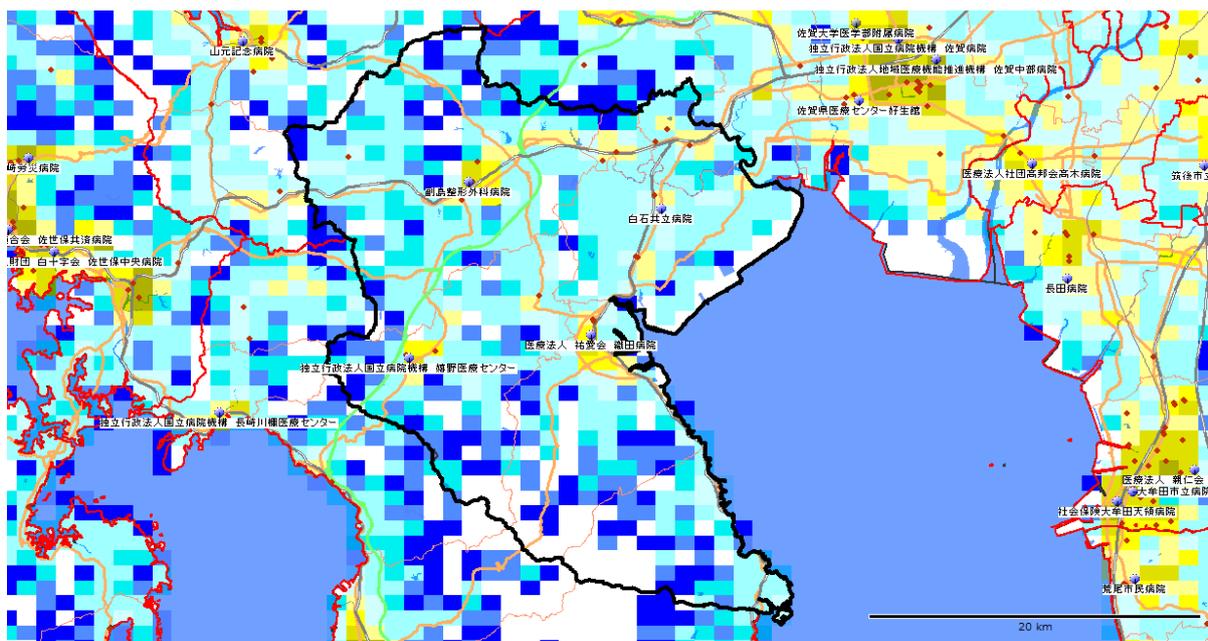
図表41-4-2 慢性期医療密度指数マップ



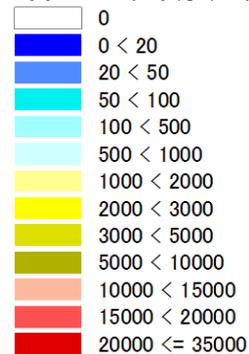
41-5. なんぶ 南部医療圏

構成市区町村¹⁰ [武雄市](#) [鹿島市](#) [嬉野市](#) [大町町](#)
[江北町](#) [白石町](#) [太良町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群
一般病院

(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(武雄市)は、総人口約156千人(2015年推計)、面積644km²、人口密度は242人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に141千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に120千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて29千人へと増加し(2015年比+12%)、2040年には30千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値66)、介護給付費は316千円(偏差値67)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.87で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が50(病院医師数52、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は72と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は78と非常に多い。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構嬉野医療センター(Ⅲ群・救命)、500例以上の新武雄病院(Ⅲ群)、副島整形外科病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は69と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値68と非常に多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2300人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1795床(偏差値56)、高齢者住宅等が505床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2314人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設72、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住32である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、184人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年169307人が、2015年に155709人と8%減少し、2025年の人口が141491人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

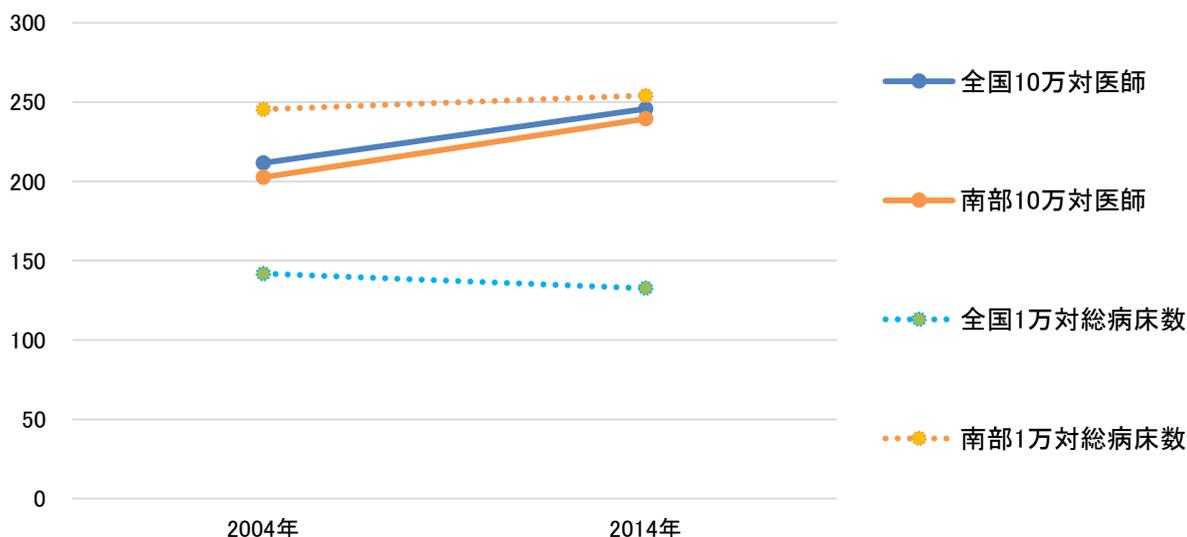
2004年の病院数が26(人口10万人当たり15.4病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2014年に25(人口10万人当たり16.1病院(全国平均6.7)偏差値73)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が110(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に112(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が4155床(人口1万人当たり245(全国平均142)偏差値69)であったが、2014年に3957床(人口1万人当たり254(全国平均133)偏差値71)と、198床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

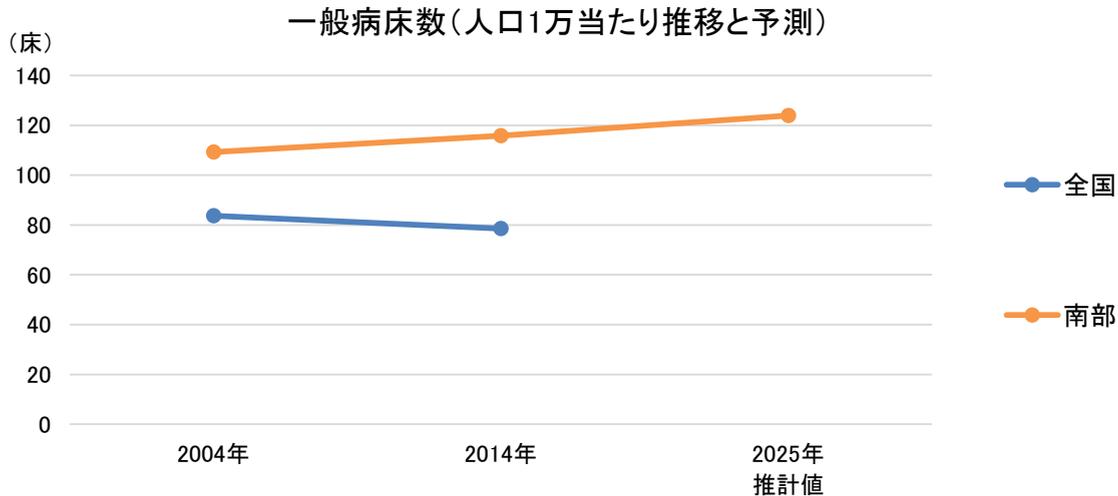
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が343人(人口10万人当たり203人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に373人(人口10万人当たり240人(全国平均246人)偏差値49)と、30人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



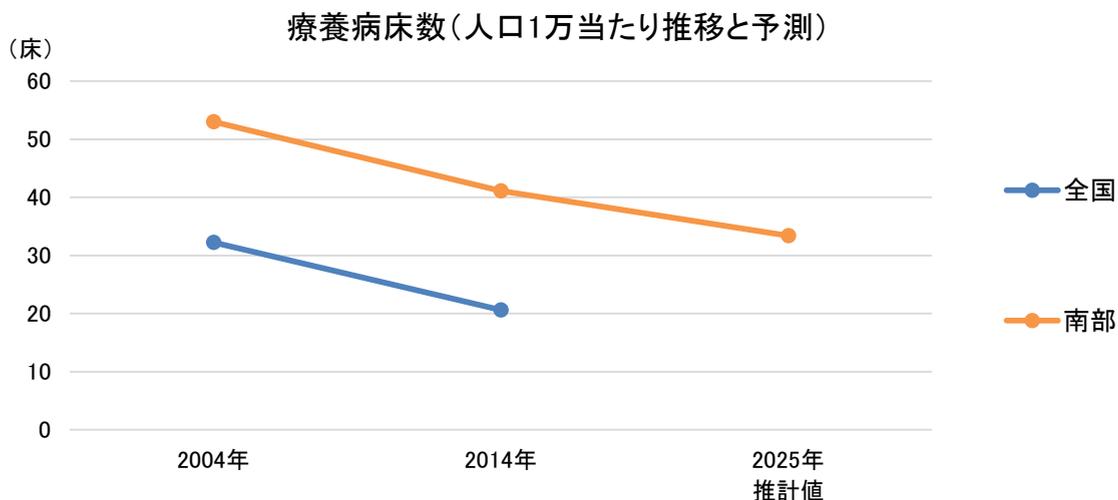
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1850床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に1804床(人口1万人当たり116(全国平均79)偏差値64)と、46床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1753床(2025年の推計人口1万人当たり124)になることが予想される。



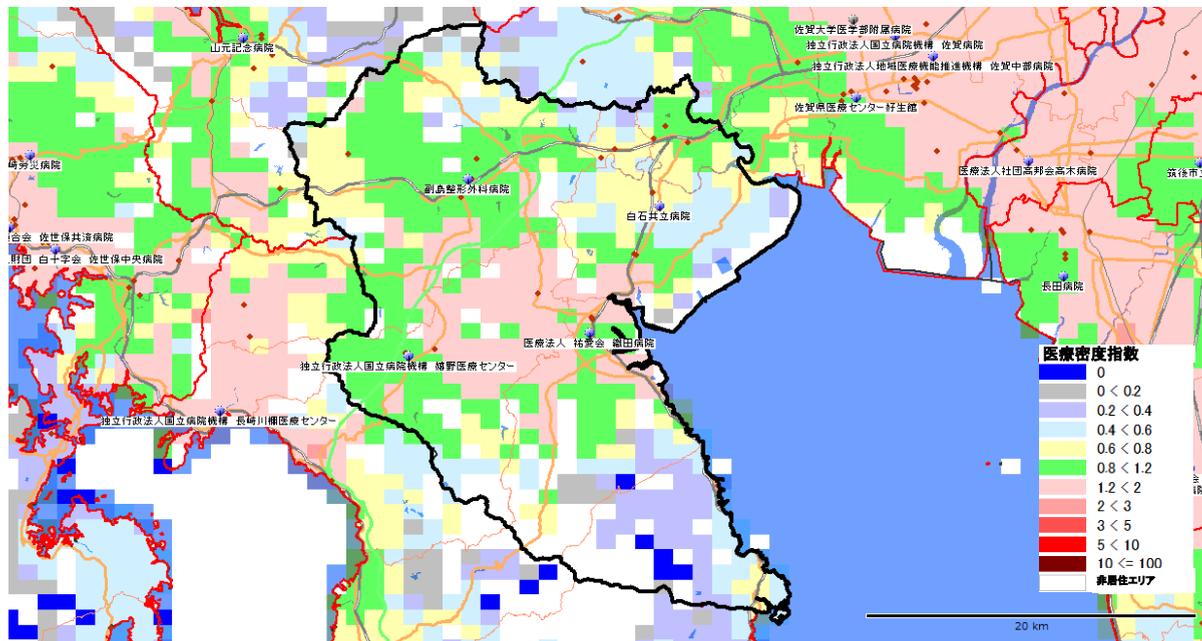
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1208床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に1087床(75歳以上1000人当たり41(全国平均21)偏差値68)と、121床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には954床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。

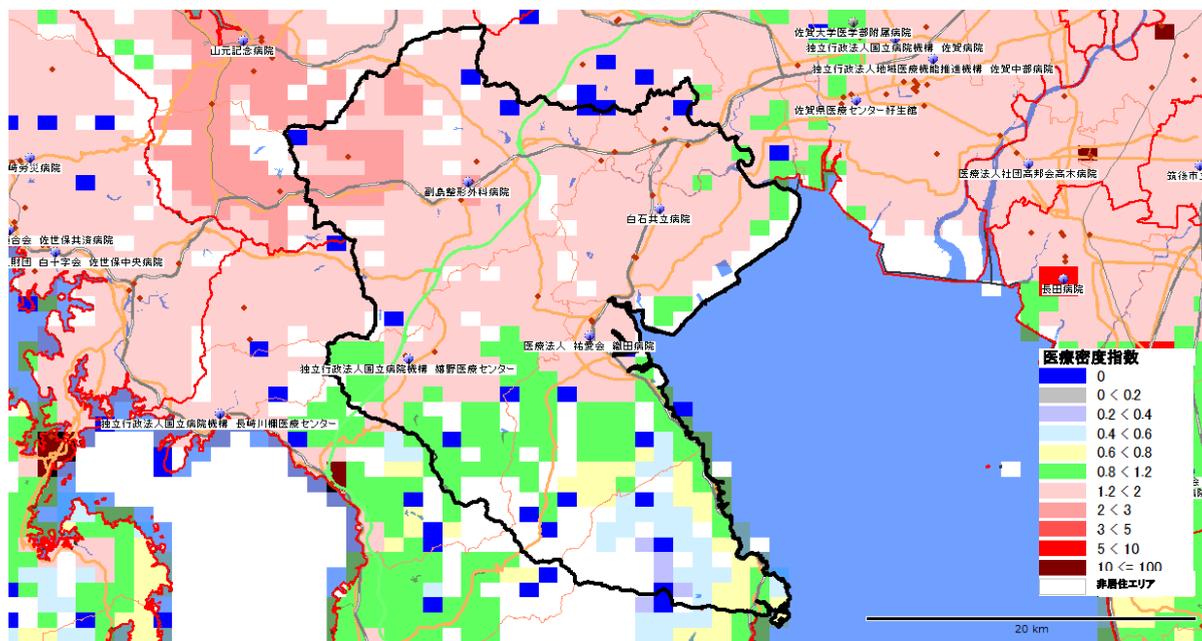


3. 医療密度⁵

図表41-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-5-2 慢性期医療密度指数マップ



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。